

●● 若手の会 第24回例会 ●●

奈良の相撲とちゃんこ

「奈良の相撲とちゃんこ」をテーマに9月5日(水)午後7時から東京都中央区の奈良まほろば館で開催。奈良県が相撲の起源であるという話とちゃんこ鍋を味わった。

第1部は、桜井市まちづくり推進部観光まちづくり課主幹の山内篤生さんが桜井市と葛城市、香芝市にまつわる相撲伝説を説明し奈良県が相撲発祥の地であることをPRした。日本書紀には垂仁天皇7年7月7日に桜井市の「野見宿禰」(のみのすくね)と葛城市の「當麻蹶速」(たいまのけはや)の天覧相撲が行われたと記されている。互いに足を上げて蹴り合う長い戦いの末、けはやは命を落とした。けはやが投げ飛ばされた地が現在の香芝市であると解説した。第2部では、相撲とは切っても切れない料理「ちゃんこ鍋」が振舞われ、参加者は奈良県出身で現在、十両で活躍する力士徳勝龍の話題に上げながら交流を深めた。



参加者に美味しいちゃんこが振舞われた